

目標達成計画及び自己評価結果を公表します

介護保険のサービスのうち、認知症対応型共同生活介護については、運営基準により、原則として年1回自己評価及び外部評価（第三者評価）を実施することが義務付けられています。

ここでは、評価結果を踏まえた目標達成計画と自己評価結果について公表します。これらは、事業者の責任で作成されたものです。内容については、各事業者にお問い合わせください。

目標達成計画について

- 各事業者は、自己評価及び外部評価（第三者評価）結果を踏まえて、目標達成計画を作成します。
- サービスの質の改善及び向上に向けて、今後、どのように取り組んでいくのかを具体的に記載します。

公表している自己評価の結果について

- 自己評価は、各事業者が、提供するサービスについて自ら評価・点検し、サービス水準向上に向けた自発的な努力に結びつけるものです。
- 自己評価の項目は、第三者評価の共通評価項目と同じです。外部評価（第三者評価）における訪問調査の前に、自己評価を実施します。
- 公表内容は、自己評価で実施を確認できた標準項目数を記載しています。

※ なお、外部評価（第三者評価）の結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」の第三者評価のページで公表しています。事業所情報の詳細ページからも、[評価情報詳細](#)のボタンをクリックすれば、第三者評価の結果ページにいくことができます。

サービス種別	認知症対応型共同生活介護		
事業者番号	1391500541		
事業所名	優っくりグループホーム杉並沓掛		
自己評価実施日	2023年	12月	20日
目標達成計画作成日	2023年	12月	25日

次のページより、目標達成計画及び自己評価結果を掲載しています。

目 標 達 成 計 画

サービス種別	認知症対応型共同生活介護
事業者番号	1391500541
事業所名	優っくりグループホーム杉並沓掛

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2-2	専門職としてその状態への対応が求められるが、症状が強く継続し対応困難な場合もあり、更なる知識と技術、経験が職員へ求められる。	座学だけではなく、実際に現場で使える介護技術を全職員が受講し習得。	来年度より年間研修計画作成時に担当課も記載し、その中で理学療法士による介護技術研修を行う項目も追加する。	12 か月
2	4-1	ユニット会議を毎月開催しているが、まだ議題内容が弱く成熟していない感じであり、ご利用者のカンファレンス内容も中身がまだ薄い感じを受ける。	ユニット会議やカンファレンスの意義の把握、介護計画作成の勉強会の実施を通じて、意図を把握する。	来年度の研修項目に「介護計画作成について」を追加。会議帯やカンファレンスを通じて何を指すかを職員が把握できる環境を作る。	12 か月
3	4-5	コロナ感染時に得たものである Zoom。Zoom でのやり取りに賛否両論があり落としどころの見極めが難しい。	遠方の方や感染面、どなたでも気軽に参加できるという強みである Zoom を基本とした対応で理解を求める。	対面に比べて「素っ気ない」という感じに思ってしまうのがオンラインの欠点であるため、対面とオンラインの両方を使用するハイブリット方法で対応していく。	6 か月
4	標準項目 2	新卒や外国人職員もあり、力量さにバラツキがあるため、ケア統一がなかなかできていない。	どの職員も統一したケアが出来るようになること。	来年度より年間研修計画作成時に、「階層別研修」を行い年次に応じた研修が行える環境を作る。	12 か月

様式2 認知症対応型共同生活介護・サービス項目中心の手法

5	標準項目 3	新卒や未経験職員、中堅や役職者など、経験や力量に差があり、事故発生時の記録内容に差が出て枚、その内容をもとに行うカンファレンス内容にも差が出てしまう。対応策にレベル差が見られてしまう。	支援経過の内容が統一でき、どのポイントを記録として残すのか、経験値に関係なく行えるようにする。	来年度の研修で「支援経過記録の重要性と書き方」という様な項目で研修を行い、見るべきポイント・書き方を学び、統一出来るようにしていく。	12 か月
---	-----------	--	---	--	-------

注1) 項目番号欄には、関連する評価項目の番号(例: 6-4-1)を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること

サービス項目中心の手法用

サービス種別	認知症対応型共同生活介護
事業者番号	1391500541
事業所名	優っくりグループホーム杉並沓掛

※ 自己評価結果は、各評価項目に属する標準項目のうち、実施が確認できた項目数を記載しています。
 ※ 標準項目については、とうきょう福祉ナビゲーションの福祉サービス第三者評価のページに掲載しています。
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/datafile1.htm>

カテゴリ6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリ1 サービス情報の提供

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-1-1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	4	4

サブカテゴリ2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-2-1 サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	3	3
6-2-2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	4	4

サブカテゴリ3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-3-1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	3	3
6-3-2 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の介護計画を作成している	3	3
6-3-3 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	2	2
6-3-4 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	2	2

サブカテゴリ4 サービスの実施

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-4-1	認知症対応型共同生活介護計画に基づいて自立生活が営めるよう支援を行っている	3	3
6-4-2	利用者の状態に応じて、日常生活に必要なさまざまな作業等を利用者が主体的に行うことができるよう支援を行っている	4	4
6-4-3	利用者の健康を維持するための支援を行っている	4	4
6-4-4	共同生活が楽しく快適になるよう工夫している	3	3
6-4-5	事業所と家族等との交流・連携を図っている	4	4
6-4-6	利用者が地域で暮らし続けるため、地域と連携して支援を行っている	5	5

サブカテゴリ5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-5-1	利用者のプライバシー保護を徹底している	3	3
6-5-2	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	2	2

サブカテゴリ6 事業所業務の標準化

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	3	3
6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	2	2

利用者保護に関する項目

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
評価項目 1	利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	2	2
評価項目 2	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	2	2
評価項目 3	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	5	5